



# さんだ倶楽部

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

No.28-7 January 2021

会長主題:『出来ることを、最大限に！—小さなことこそ、コツコツと—』

国際主題:『Trust in the river life』

『命の川を信じよう』

アジア主題『変化をもたらそう』

西日本区主題:『Let's do it now!』

六甲部主題:『行動に信念を、信念は行動に』

会 長: 安行 暁子  
 書 記: 松本 美耶子  
 会 計: 安行 暁子  
 会計監査: 竹内 一夫  
 担当主事: 齊藤 靖  
 ブリテン: 松本 文男

## 1月の例会

◆1月第1例会 1月13日(水)

19:00~ 於 安行邸

ドライバー 竹内 一夫

開会点鐘 会長 安行 暁子

ワイズソング ー 同

聖書・お祈り

協 議

① 六甲部評議会について

② 今後の例会について

③ その他

報 告

部長 会長 YMCA

誕生者お祝い

閉会点鐘 会長 安行 暁子

◆1月第2例会 1月27日(水)

19:00~ 於 安行邸

協 議

● 2月の例会について

● これからの六甲部について

● その他

## 今月の聖句

「喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい」

(ローマ書12章15)

## 今後の予定

◆2月第1例会 2月12日(水)

19:00~ 於 高次 安行邸

◆2月第2例会 2月26日(水)

19:00~ 於 高次 安行邸

♥ 誕生日おめでとうございます ♥

1月20日 松本 文男メン

12月のデータ(在籍者 8名)  
 出席 メン7名 出席率 87.5%  
 ニコニコファンド(12月) 9000円  
 累計 24,380円



～令和三年正月に～

六甲部 部長 安行英文

さて、去年のこの日、つまり一年前、現在の  
ようなコロナ禍を誰が予想したであろうか。  
今も続く、模索の一年が始まったのがちょう  
ど一年前。しかし、その答えはいまだに出てい  
ない自分に腹立たしいかぎりです。

確実に言えることは、色々なことが大きく  
変わるだろうということ。YMCA しかり、ワイズ  
もどのような方向性がよいのか、逆に社会に  
問われている。

手探りの状態で、評議会から、部会の中止、  
部費の免除など、緊急の各クラブよりYMCAに  
対しての援助、部としての少額ながらの支援  
を行いました、

対面的にはチャリティゴルフを部として開  
催し、YMCA 支援が実行できたことはこのコロ  
ナの蔓延の状況の中でよくできたことだと、  
改めて六甲部の各クラブのワイズメンの協力  
の賜物と深く感謝申し上げます。

下半期の行事もどれだけのことが実行で  
きるか、現在の状況では予想もできません。

しかし、何らかの明るい兆しが出てくるこ  
とを鑑み、実行できていない残りの部の行事な  
どもおいおい相談を皆様としながら、コロナ  
禍二年目の抱負を述べさせていただきました。

どうぞ、年末年始、皆様もコロナに気を付け  
てお過ごしください。

～新年にあたって～

会長 安行 暁子

新年明けましておめでとうございます。本年  
もよろしくお願ひ申し上げます。

1年前には、このような新年がやってくるこ  
となど想像もできませんでした。当たり前  
に思っていた未来は、当たり前にはやって来な  
いのだと思い知らされる毎日です。「自分を  
守り、他の人も守る」 今までそれほど意識し  
ていなかったけれど、それってすごく大切で、  
結構難しいことにも気付かされた一年でした。

クラブとしては、かるがも園の支援、花火例  
会、バレンタインコンサートなどの継続事業の  
ほとんどができなくなり模索しながらの半年

でした。

そんな中、新しい試みもスタートしました。  
『丹波黒豆枝豆ファンド』です。今年度は収穫・  
販売のみでしたが、今後、YMCA の留学生や学  
生、そして地域を巻き込んで、交流の広がる  
事業として発展させていきたいと夢が膨らみ  
ます。

コロナが一日も早く収束し、これまでの継  
続事業が再開できますように祈るばかりです  
が、何より皆が健康で集える喜びを分かち合  
えますように。

今年もコツコツとやってまいりましょう！

～上を向いて～

松本 文男

コロナ禍の中で、2020 年が先行きの見えな  
いまま過ぎ去ろうとしています。

毎日のように、本日の新規感染者数という  
ニュースが流され、夕食のはじめを「今日も無  
事だったね、感謝！」と連れ合いと一缶のビ  
ールを分け合い、乾杯する習慣が身についま  
した。

そんな中で、この一年で良かったことの  
一つは、縁あって3月から久しぶりに猫を飼う  
ことができたことです。とても人懐っこい猫で、  
寝ていると傍に来てゴロゴロと喉を鳴らして、  
体を引っ付けてきます。その温かさにやられ  
ています。

また、「ハヤブサ2号」が無事に地球に帰還  
したこと、そしてNASA 宇宙飛行士の野口聡一  
さんが乗り組んでいる 2020 年国際宇宙ステ  
ーション(ISS)「きぼう」が地球を周回し、それ  
を見ることができるとのニュースにも心が弾  
みました。

実際に、11月21日午後5時半過ぎには2  
人で、また12月9日午後5時50分過ぎには  
近隣6,7名で、「きぼう」が天頂を通過するの  
を見ることができ、みんなで感激を共有でき  
ました。

2021 年もささやかな希望をよりどころとし、  
上を見上げて過ごしたいものです。





## ～丑年に思う～

松本 美耶子

2020年、それは日本の、世界の歴史に特記される大変な年となりました。新型コロナによる脅威と生活様式の変化を、昨年初めに誰が想像したことでしょう。見えないウイルスと不安感が漂う中の生活は息苦しく、誰もが鬱になりそうな状況が続き、普通に送っていた日常がどれだけ大切であったかを痛感させられています。

この状況を乗り越えるための国の施策は後手後手で歯ぎしりするばかり。でも、小さい思いやり・触れ合い、マスク越しの笑顔・挨拶などがどれだけ力づけてくれるかを知り、リモートの、工夫しながらの種々の芸術活動のオンライン配信にも励まされました。

人には学ぶ力・智恵・そして工夫するという力があります。今年が丑年。歩みは遅くとも、どっしり落ち着き、もうすぐ、もうすぐ、もう少しと「もうもう」つぶやきながら、共にいてくださる方を思い、前を向いて進もうと思います。

## ～今年言葉を大事にしよう～

竹内 一夫

「さようなら2020年、こんにちは2021年」、残念ながら重苦しい年明けを迎えてしまいました。この1年ほど、為政者の言葉が心に響いてこない1年はなかったように思います。心のこもらない言葉がどれほどむなしい響きを持つものか、どれほど受け取るものの心をイラつかせるものかを痛感しました。そこから生まれたのは無力感だけだったように思います。

しかしながら、これらの非日常から学んだこともあります。誠意と熱意が如何に大切かということです。さんだクラブとしては、この1年、残念なことではありましたが、支援を必要とされる方々に、直接お会いしての活動は許されませんでした。今年一日でも早く、昨年の学びを生かせる日々が来ることを願うものです。

新年がわたくしたちにとって、少しでも平安な1年でありますように。

## ～新年に思うこと～

竹内 路子

明けましておめでとうございます。本当に心からこう言える年明けでなくて、非常に残念です。だからこそ、平安な生活への希望が強くなるのですが、それもマスメディアの報道によれば、まだまだ時間がかかるようです。

私たちの多くは、とんでもないこと考えているではありません。「極々ささやかな、家族と屈託なく話し合い、集い合える日常を、友達や友人とごくごく自然に出会い、話し合える生活を」と望んでいるだけです。

1年頑張れたのですから、あと半年ぐらい、子供たちへの話しかけではありませんが、「お心を強くして」、何としてでも頑張り通しましょう。そしてマスクも、手洗いもない、さわやかな初夏の日々を楽しめる生活を手に入れましょう。こうでも考えないと心が弱ります。

新しい年に平安が訪れますように、お祈りします。



## ～出来ることを出来るときに

清水 浩一

コロナウイルス感染が世界中に拡大し、今まで経験したことのない事態が全世界の個人個人の私生活にまで及んだ2020年がもうすぐ終わろうとしています。もちろん、ウイルスにとって年末年始の区切りは関係ないですが、一刻も早くワクチンが世界中に配布され、2021年は世界中の人類が新型コロナウイルスに打ち勝った年として記憶されることを願わずにはられません。

私個人としては、独立してから3年目を迎える2つの事業(農業・法人運営)それぞれの運営に追われ、なかなかワイズ活動へも参加できない1年でした。そんな中でも、様々な地域活動や市民活動支援に関わり、オンライン導入の初心者講座や孤立化を防ぐためのヒアリングを実施してきました。また、小学生の生活環境の改善や運動量の確保をねらいとしたフットサル教室も継続して実施しています。

まだまだ我慢の時が続きますが、出来とを

出来る時に出来るだけしていきたいと思  
います。

### ～コロナ禍で思うこと～

齊藤 靖

コロナによる影響は歴史的にも大きく現在も続いています。このような時に思うことは、ローマの信徒への手紙 5 章 3～5 節「苦難は忍耐を、忍耐は練達を、練達は希望を」です。この聖句は、私が YMCA に入職した時に当時の総主事からいただいた聖書に直筆のメッセージとして書かれていたものでもあります。それだけに、いつも胸に抱いている聖句の一つでもあります。

私たちは、家庭でも職場でも外出先でも新たな生活様式を取り入れ過ごしています。このコロナ禍だからこそ必要なもの、大切なものは何か、そしてこのコロナ禍という逆境をプラス(チャンス)に変えるものは何か?と。テレワークやオンライン、そしてキャッシュレス決済などをはじめ、今思えばこの一年で多くが変化しました。この変化は練られた知恵の積み上げによる進化でもあります。

これらは、神様から与えられた、希望へとつながる道であるということを信じ、これからも歩みを続けたいと思います。

### 12 月例会報告

日 時:12 月 13 日(水) 18:30～20:15

会 場:安行邸

出席者:安行英文・暁子、竹内一夫・路子

松本文男・美耶子、齊藤 靖

礼拝と祝会(会食)を含むクリスマス例会の予定であったが、新型コロナウイルス感染増大により、急遽、打ち合わせ例会のみ開催。

#### 〈報告事項〉

- 1、ワイズ将来構想委員会 12 月 7 日(月)  
18:30～20:15 三宮会館 308・309 教室  
Zoom も使用のハイブリット会議  
出席者:井上YMCA総主事・職員 3 名  
安行六甲部部长・各クラブ会長 8 名  
ワイズパートナーシップ委員会 2 名

#### ・ポジティブ募金の報告

募金 12,268,917 円(11/25 現在)

#### ・各クラブの活動状況

#### ・今後の YMCA とワイズメンズクラブとの協働について

ワイズメンズクラブが YMCA を金銭的な面 1 月半ばにパートナーシップ委員会主導で話し合う。

#### 〈協議事項〉

六甲部第 2 回評議会について

・開催日時 3 月 27 日(土) Zoom 使用

・開催方法は書面とし、資料と議決葉書をネットで各クラブ会長に配信。

クラブごとにまとめていただき、その結果を、当日の Zoom 会議時に知らせていただく。

※中間報告依頼案内と各回答書を該当者に配信 : 1 月末

※回答返信期限 : 2 月末

※各クラブ会長へ資料配信 : 3 月中旬

※第 1 回評議会で承認された小野メン提案の六甲部部則改定の施行時期については、次期六甲部扱いとなることを引き継ぐ。

※令和 3 年 1 月 13 日(水) 予定の第 1 例会で書類・段取りを確認する。

#### 六甲部会計

・各クラブへ「ワイズおこし」募金よりの 10,000 円を配布する。

六甲部の残金は約 863,000 円。

・次年度西日本区役員会の研修費 10,000 円 振込予定。

#### YMCA より

配布の総主事メモ(3 枚)参照。

#### 西日本区

・新生ワイズおこしニュース No.5 11/21

・理事通信 12 月号 12/1

・メネット通信 2 号 2020.12.

#### その他配信・配布

・国際会長ニュース 第 6 号 2020 年 12 月

・3.11 メモリアル 被災地復興支援プロジェクトへの協力依頼パンフレット  
(石巻広域ワイズメンズクラブ)